

解説

馬場 あき子

● 狂言 月見座頭 山本東次郎

● 能 葵 上 友枝 昭世

● アフタートーク

馬場あき子  
山本東次郎  
友枝 昭世

# 能と狂言 人間国宝の競演

## 友枝昭世と山本東次郎の至芸

● 開催日 2019年5月3日(金・祝)

14時開演(13時30分開場)

● 会場 川崎市麻生市民館大ホール  
(小田急線新百合ヶ丘駅北口徒歩3分)

● 入場料 SS席 6,000円  
S席 5,000円 (全席指定)



能「葵上」友枝昭世 撮影：吉越 研



狂言「月見座頭」山本東次郎  
撮影：神田佳明

チケットご購入のご案内 2月1日(金)より発売! 良いお席はお早めに。2/2(土)、2/3(日) 営業

### 1. インターネット

アルテリッカ  検索

アルテリッカしんゆりチケットセンター (24時間対応)  
<http://www.artericca-shinyuri.com/>

### 2. 電話予約

アルテリッカしんゆりチケットセンター  
(10:00~17:00/土・日・祝を除く、ただし4/1からは毎日営業)  
TEL.044-955-3100

### 3. 窓口販売 (A、B、C、D、E/地図参照)

- A** 川崎市アートセンター (9:00~19:30/毎月第2月曜除く ただし祝日の場合は翌日)
  - B** 新百合21ホール (10:00~17:00)
  - C** 昭和音楽大学チケットセンター (昭和音楽大学南校舎内 10:00~18:00/12:00~13:00及び土・日・祝を除く)
  - D** 昭和音楽大学北校舎 (10:00~18:00/12:00~13:00及び土・日・祝を除く)
  - E** マイタウンチケットセンター (新百合ヶ丘マブル「写真工房」内 9:00~21:00/不定休)
- ★お近くのセブンイレブンでもお買い求めいただけます

主催:公益財団法人川崎市文化財団

共催:川崎・しんゆり芸術祭2019実行委員会  
川崎市  
川崎市教育委員会

後援:「音楽のまち・かわさき」推進協議会  
NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり

お問い合わせ ▶ 川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)2019実行委員会事務局 TEL.044-952-5024 FAX.044-955-3212



# 能と狂言

## 人間国宝の競演

—友枝昭世と山本東次郎の至芸—

狂言

### 月見座頭【つきみざとう】

今宵は中秋の名月、目は見えなくてもせめて虫の音に秋の夜の美しさを味わいたいと、座頭は一人月の冴えわたる野に出て、秋の虫の音を楽しんでます。そこへ来合わせた上京の男は、座頭の月見とは珍しいと声をかけます。二人は男の持参の酒を酌み交わして意気投合、謡い舞い、楽しいひとときを過ごします。けれども、上機嫌で別れた後、上京の男はふといたずら心を起こして踵を返し、別人を装って座頭を突き倒し、罵声を浴びせて立ち去るのです。

深い人間洞察に基づいた狂言の名曲です。山本家では、一つ上の位の勾当の姿で演じ、緊張感が強調されます。

シテ(座頭)……………山本東次郎 アド(上京の者)……山本 則俊

能

### 葵上【あおいのうえ】

左大臣の娘、光源氏の北の方(正妻)である葵上が物の怪に取り憑かれて病に臥せています。医者にかかっても加持祈祷をしても一向に良くならないので、朱雀院に仕える廷臣が、梓弓によって亡霊を呼び寄せる呪術を持つ照日の巫女に命じて物の怪の正体を占わせます。すると、なんと源氏の愛人であった六条御息所の生霊が現れ、愛を失った悲しみと恨みを葵上の枕元で責めさいなみ、幽界へ連れ去ろうとします。急ぎ、横川小聖という行者を呼び寄せて祈祷を始めると、六条御息所が鬼女の姿となって現れ、行者を追い返そうと激しく争います。しかし、やがて六条御息所の怨霊は祈り伏せられ、ふと我に返って浅ましい自分の姿を恥じ、心を和らげて成仏していきます。

シテ(六条御息所生霊)……友枝 昭世 後見……………中村 邦生  
ツレ(照日の巫女)……………内田 成信 ……………友枝 雄人  
ワキ(横川小聖)……………宝生 欣哉 地謡……………香川 靖嗣  
ワキツレ(朱雀院臣下)……則久 英志 ……………長島 茂  
アイ(下人)……………山本 則重 ……………狩野 了一  
笛……………栗林 祐輔 ……………金子敬一郎  
小鼓……………森澤 勇司 ……………粟谷 浩之  
大鼓……………大倉慶乃助 ……………友枝 真也  
太鼓……………林 雄一郎 ……………佐藤 寛泰  
……………谷 友矩

## プロフィール

友枝 昭世 (ともえだ あきよ) ●能楽師 喜多流 シテ方



- 1940年3月24日生まれ。肥後熊本・加藤家・細川家のお抱え能役者の本座・友枝家に友枝喜久夫の長男として、東京に生まれる
- 1946年/能楽シテ方喜多流十五世宗家喜多美氏に師事
- 1978年/第28回芸術選奨文部大臣新人賞受賞
- 1994年/第16回観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞
- 1995年/第45回芸術選奨文部大臣賞受賞
- 1996年/「友枝会」(江戸幕府崩壊後、曾祖父友枝三郎のもと熊本にて発足)を父喜久夫没後継承
- 2000年/春の紫綬褒章受賞
- 2003年/日本芸術院賞受賞
- 2004年/伝統文化ポーラ賞大賞受賞
- 2008年/重要無形文化財各個指定(人間国宝)認定
- 2011年/日本芸術院会員に就任

山本東次郎 (やまもと とうじろう) ●能楽師 大蔵流 狂言方



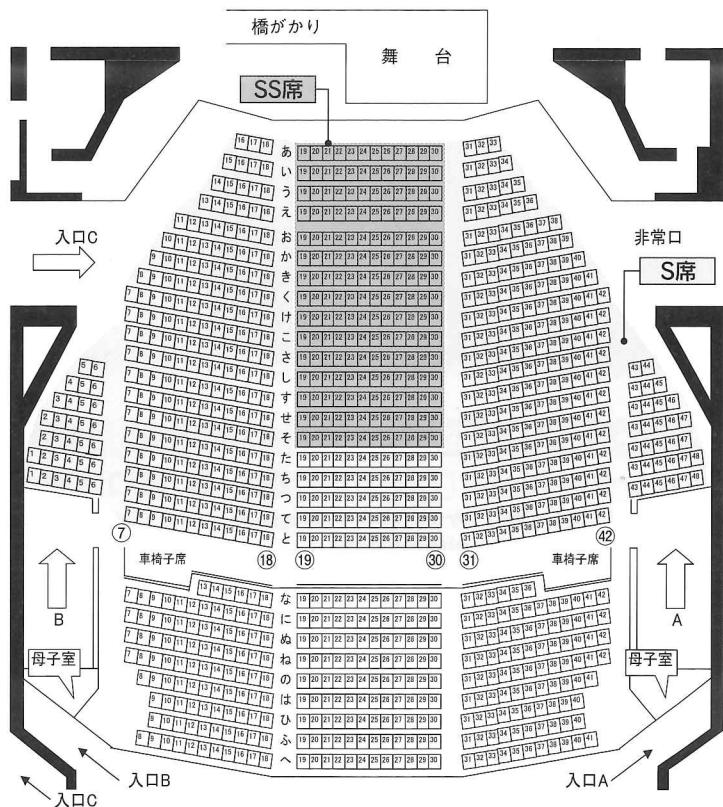
- 1937年5月5日生まれ。山本東次郎家四世。三世東次郎の長男。山本会を主宰。
- 1964年/芸術祭奨励賞受賞
- 1992年/芸術選奨文部大臣賞受賞
- 1994年/第16回観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞
- 1998年/紫綬褒章受賞
- 2001年/エグソンモビル音楽賞(邦楽部門)受賞
- 2007年/日本芸術院賞受賞
- 2012年/重要無形文化財各個指定(人間国宝)認定
- 2017年/日本芸術院会員に就任
- 一般財団法人杉並能楽堂理事長
- 著書  
「狂言のすずめ」、「狂言のこたごま」、「山本東次郎家 狂言の面」(玉川大学出版部)、「狂言 山本東次郎」(共著)(新人物往來社)、「中高生のための狂言入門」(共著)(平凡社)

馬場 あき子 (ばば あきこ) ●歌人



日本を代表する歌人、文芸評論家。短歌結社「かりん」主宰。古典や能に対する造詣も深く、喜多美に入門。新作能の制作も行い、「影媛」(国立能楽堂委嘱)は大好評を博した。日本芸術院会員、朝日歌壇選者ほか。「馬場あき子全集」全13巻ほか歌集や著書多数。川崎市在住。

## 川崎市麻生市民館 ホール座席表



詳しくは [川崎市麻生市民館座席表](#)